

## 臨床研究概要

1 整理番号 14-12-05

### 2 研究課題名

冠動脈疾患を疑われた患者における血流依存性血管拡張反応と各種パラメーターの関連性

### 3 目的と意義

冠動脈疾患が疑われ当科へ受診し、冠動脈造影検査を受けた患者における血流依存性血管拡張反応(FMD)と各種パラメーターの関連性を分析し、FMDの意義について後ろ向きに検討する。FMDの臨床的意義を解明し、検査を推進すべき患者を選定できる。

### 4 適格基準

対象疾患:冠動脈疾患を疑われ、冠動脈造影検査 [観血的冠動脈造影検査(CAG)または、マルチライスCTによる冠動脈造影検査(CTA)], Flow Mediated Dilation (FMD)検査および脈波伝播速度(PWV)測定装置による検査を実施した患者。性別:問わない。年齢:20歳以上。

### 5 方法

適格基準を満たした患者の患者背景、治療内容、身体所見、血液検査、非侵襲的検査としてFMD、PWVや経胸壁心エコーについてデータを収拾する。

### 6 評価項目

主要評価項目:禁煙対策前後における院内発症AMI発症率の差

副次評価項目:院内発症AMIの予後検討、院内発症AMIと危険因子との関係

7 目標症例数:420例(データ収集期間:2008.4.1から2014.10.31まで)

8 試験予定期間:IRB承認日からから2015.3.31まで

9 協力病院:なし